

“世界を走る”シリーズ

News Release

2014年4月1日



「世界を走る」をコンセプトにランニング大会をシリーズ化
第1弾は5月25日開催のワラーチ6時間耐久リレーマラソン

NPO法人ジャパンスポーツコミュニケーションズ(神奈川県横浜市都筑区・代表理事 米司隆明)は、ランニングを通じて日本の地域や海外の文化に触れられるイベントをシリーズ化し、「世界を走る」と題して主に都内の陸上競技場や公園などでランニングイベントを実施します。第一弾として5月25日、東京都板橋区の荒川戸田橋陸上競技場で「ワラーチ6時間耐久リレーマラソン」を開催します。

東京マラソン開催以降、マラソンなどのランニングは各地に広がる一方ですが、「世界を走る」は順位やタイムを競うものの、国内や海外の特長的なランニングスタイルを真似て走ること、各地の多様なランニングの文化を体験したり、食や展示パネルを通じてその土地の文化や習慣にも触れられるのが特長。

第一弾となる「ワラーチ6時間耐久リレーマラソン」(5月25日)は、走る民族として知られるメキシコのタラウマラ族が履くワラーチにヒントを得て、廃タイヤなどを使ったサンダル「ワラーチ」を履いて6時間走るリレーマラソン。ソロまたはチーム(2~9人)でエントリーし、タイムや順位を競います。同大会はメキシコ大使館が後援するほか、お弁当にメキシコ料理を振る舞ったり、エイドステーションにメキシコを意識した食べ物や飲み物を用意するなどメキシコ色を演出。ワラーチ作りのワークショップを開催したり、優れた手製ワラーチを表彰するコンテストを行うなど、ワラーチの文化に着目したイベントも開催する予定です。ワラーチの文化を日本に伝えてくれたタラウマラ族に敬意を表し、参加賞にはタラウマラ族が作った民芸品を充てる予定で、主催者は「少しでも現地から直接物品を購入することで、文化交流や、参加者が現地の伝統文化を知るきっかけになれば嬉しい」と話しています。

著書『BORN TO RUN』（NHK 出版）で一躍有名になったタラウマラ族は、メキシコ北部チワワ州の乾燥した山岳、丘陵地に住む民族。人口は約 7 万 5,000 人といわれ、トウモロコシ、豆、カボチャ、トマトの栽培、ヤギや牛の飼育が盛んです。人間の競走能力を高く評価し、自身をララムリ（競走者）と呼ぶことで知られています。

「世界を走る」は今後、かつての日本の運動会を思い出させる足袋で走る大会や、民族衣装を着て走る大会などを実施する予定です。

■ “世界を走る” シリーズに関するお問い合わせ

“世界を走る” シリーズ大会事務局

〒224-0046 神奈川県横浜市都筑区桜並木 12-37 MKT ビル 1F

（NPO 法人ジャパンスポーツコミュニケーションズ内）

担当：福島、廣瀬

TEL：045-949-4343 FAX：045-949-4344

run@spocom.org

“世界を走る”シリーズ URL：<http://wwrun.jp/>

